

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	共通問題：社会科教育
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号				

問1 社会科・地歴科・公民科の教育においても、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善が求められている。「主体的・対話的で深い学び」をどのように実現していくのかを学校種と教科や科目名を提示し、学習場面を想定して日本語で具体的に論述せよ。

なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) 授業改善で求められている「主体的・対話的で深い学び」の意味や要点が記述されていること。
- 2) 選択した学校種と教科や科目名に基づき「主体的・対話的で深い学び」を授業の場面や過程に即して説明していること。
- 3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組み方や手立てなどを提示していること。
- 4) 論述内容が、社会科を研究教科、専門教科とする教員が備えるべき見識として妥当なものであり、現在の学校教育において実施が可能であること。

上記に加え、論述に論理性や妥当性、具体性があるかをみる。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：小学校社会科
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号				

問1 「社会的な見方・考え方」を働かせる学習について、小学校社会科の学年と単元名を提示し授業における指導のポイントや留意点なども含めて日本語で具体的に説明せよ。
 なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) 「社会的な見方・考え方」という用語の理解に基づいて論述されていること。
- 2) 教育実習や文献講読などの経験を想起し、授業の実際に基づき指導の方法や留意点などを具体的に説明していること。
- 3) 想定している学年や単元について、学習者の発達、目標や内容、学習活動などに配慮した記述をしていること。
- 4) 論述内容が、社会科を研究教科、専門教科とする教員が備えるべき見識として妥当なものであり、現在の学校教育において実施が可能であること。

上記に加え、論述に論理性や妥当性、具体性があるかをみる。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○	科目	選択問題：中学校社会科	受験番号
	現職教員選抜	○	対象	社会科教育サブプログラム	
	外国人留学生等選抜	○			
	派遣教員選抜	×			
	特別選抜	×			

問1 中学校学習指導要領（平成29年告示）では、持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度や思考力・表現力・判断力など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育てていくことが求められている。そこで学習指導要領に準拠した単元を想定し、学年・分野・単元名・時間数を明記した上で、持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度や思考力・表現力・判断力など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育てるための授業展開の工夫、学習指導や評価のポイントなどについて具体的に日本語で論述せよ。

なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) 中学校社会の目標や教育内容を踏まえて単元を想定していること。
- 2) 想定している学習者の認識的な発達、既習内容や学習スキル等に配慮していること。
- 3) 「地球規模の諸課題」やそれをめぐる「議論の実態」または「解決案」に対して社会科を専門教科とする教師が備えるべき見解を有しており、その見解を踏まえて、自らの授業論、学習論、評価論などについて具体的に述べていること。
- 4) 生徒の知的な思考力・表現力・表現力を伸ばすことができるような問いや学習課題の設定が具体的になされ、その評価のポイントが具体的に示されていること。
- 5) 社会科教育学やその他近接領域での先行研究の議論や提案などを踏まえていること。

上記に加え、授業展開についての論述に論理性があること。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：高等学校地理総合
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号				

問1 高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「地理総合」における改善・充実の要点の一つに、「社会的事象の地理的な見方・考え方」を働かせることができる適切な「主題」や「問い」を中心に構成する学習の展開がある。そこで、「地理総合」のいずれかの単元をとりあげ、何らかの「主題」とそれにもとづく「問い」の事例を提示し、それを設定したねらい及び意義と、その学習で重要となる「地理的な見方・考え方」ならびに学習のポイントについて、日本語で具体的に説明せよ。
 なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) 地理歴史科「地理総合」の目標や教育内容をふまえて記述しているか。
 - 2) 「主題」や「問い」の中身とそのねらい・意義を明確に説明しているか。
 - 3) 「主題」や「問い」に関わる適切な地理的見方・考え方を提示しているか。
 - 4) 「主題」や「問い」に対応した学習のポイントを提示しているか。
- 上記に加え、論述全体に論理性・具体性があるかをみる。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：高等学校歴史総合
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号				

問1 高等学校学習指導要領(平成30年告示)第2章第2節「地理歴史」第2款「各科目」の第3「歴史総合」では、3「内容の取扱い」の(1)の「ア」において、「この科目では、中学校までの学習との連続性に留意して諸事象を取り上げることにより、生徒が興味・関心をもって近現代の歴史を学習できるよう指導を工夫すること。」と定められている。

この学習指導要領の記載を踏まえると、「歴史総合」の「内容」の大項目A「歴史の扉」において、どのような学習指導を行うべきであろうか。その学習指導の過程で取り扱うべきと考える教材や資料に必ず言及しつつ、あなたの考えを日本語で具体的に記述せよ。

なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) カリキュラム・マネジメントの観点から、中学校社会科歴史的分野と高等学校地理歴史科歴史総合との連続性のあり方を理解できていること。
 - 2) 歴史総合の内容構成に関して、特に「歴史の扉」の位置づけが理解できていること。
 - 3) 学習指導要領では、大項目Aの中の中項目(1)において、「私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解」し、「近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせ」て、私たちの生活や身近な地域などに見られる「諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現すること」を定めている。こうした規程を理解できているかどうかポイントになる。また、この規程を実現するために適切な「私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象」や「日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する」ことにかかわる教材や具体的な資料に言及できているかどうかポイントになる。
- 上記に加え、論述全体に論理性・具体性があるかをみる。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：高等学校公共
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号				

問1 公共の授業において「よく生きること」を学習する際に、授業をどのように構成・展開していくか、具体例を挙げたうえで、教材研究のポイントや教材化の留意点等について日本語で具体的に説明せよ。
 なお、解答用紙が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1) 古今東西の先哲のものの考え方を踏まえて解答することが望ましい。具体例としては、「ただ生きるのではなく、よく生きること」を唱えたソクラテスの言説、社会をよりよくするための仁と礼の実践（孔子）、自らの本質（性）を自覚して教育を受け幸福を追求するという営為（孟子や荀子）、正義（感）に基づいた生き方（アリストテレスやロールズ）、等が考えられる。
 - 2) 個人における心構えや生の充足のみを記すのではなく、他者と関わって社会における自らの役割を果たすことの意味についても考察されていること。
 - 3) そもそも「生きる」とは何か、そこから一歩進んだ「よく生きる」とは何か、という段階的な観点からの記述があることが望ましい。
 - 4) どのようにして授業を展開するか、具体的かつ説得的に論じていること。
- 上記に加え、論述全体に論理性があるかをみる。